



## スプレー缶等の火災・事故を防ぐために

### スプレー缶等を使用する際の注意点

- ① スプレー缶には、LPG（液化石油ガス）や DME(ジメチルエーテル)などの可燃性ガスが噴射剤として使われている製品が多いことから、使用前に必ず製品に記載されている注意事項を確認する。
- ② 厨房器具や暖房器具付近の高温となる場所や、直射日光と湿気を避けて保管し、厨房器具や暖房器具等の付近では使用しない。
- ③ スプレー缶の危険性を理解し、正しく取り扱う。

### 札幌市内での火災事例

- 灯油ファンヒータの前に置いてあったスプレー缶が輻射熱により破裂し、可燃性ガスに引火した
- スプレー式塗料缶を湯煎<sup>ゆせん</sup>で温めていたが、別の作業のためその場を離れてしまい、時間経過とともにスプレー式塗料缶の内圧が破裂し、可燃性ガスに引火した
- 台所でこんろを使用中に、使用済みのガスボンベに穴を開けたところ、噴出した可燃性ガスに引火し、周囲に燃え広がった



### 「スプレー缶・カセットボンベによる火災実験」動画

札幌市公式ホームページから、消防科学研究所による実験動画をご覧ください。

<http://www.city.sapporo.jp/shobo/shokai/gakko/labo/movie/spray.html>